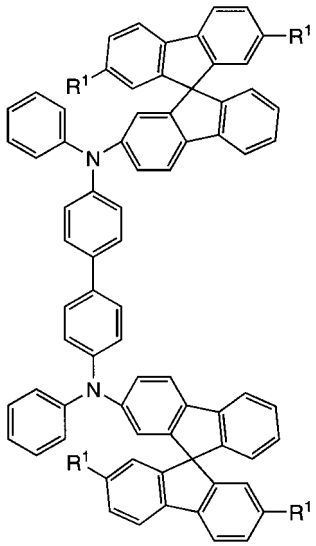
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2006-22089(P2006-22089A)
【公開日】平成18年1月26日(2006.1.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-004
【出願番号】特願2005-167740(P2005-167740)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ 211/61 (2006.01)
Ｃ０９Ｋ 11/06 (2006.01)
Ｈ０１Ｌ 51/50 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ 211/61 ＣＳＰ
Ｃ０９Ｋ 11/06 ６９０
Ｈ０５Ｂ 33/14 Ａ
Ｈ０５Ｂ 33/22 Ｄ

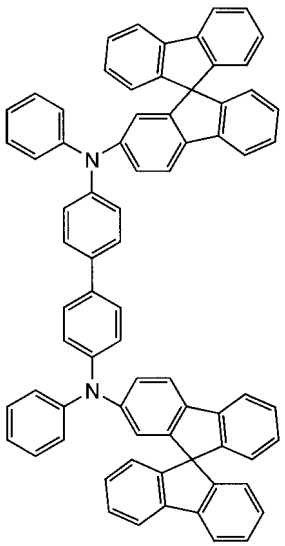
【手続補正書】
【提出日】平成20年3月26日(2008.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一般式（１）で表されるベンジジン誘導体。
【化０１】



(1)

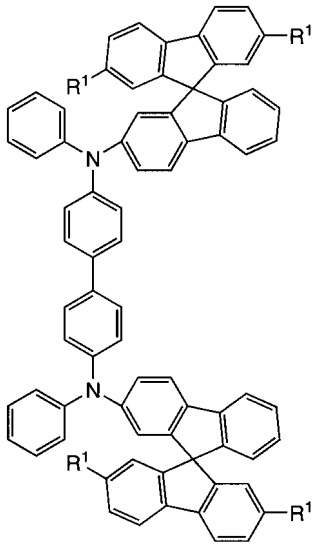
（式中、Ｒ^{1}は、炭素数１～４のアルキル基のいずれかを表す。）
【請求項２】
構造式（２）で表されるベンジジン誘導体。

【化０２】



(2)

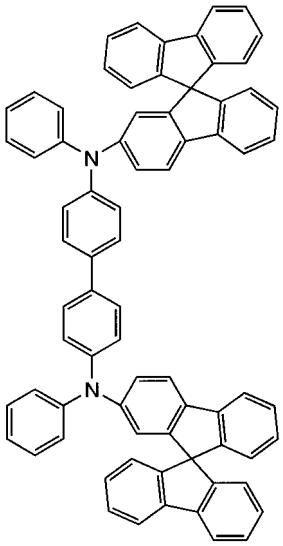
【請求項３】
一対の電極間に、請求項１または請求項２に記載のベンジジン誘導体を含む層を有する発光素子。
【請求項４】
Ｎ，Ｎ’－ジフェニルベンジジンと、２－ブロモ－スピロ－９，９’－ビフルオレンとのカップリング反応によって得られ、融点が３２３℃～３２４℃である化合物。
【請求項５】
一対の電極間に、請求項４に記載の化合物を含む層を有する発光素子。
【請求項６】
一般式（１）で表されるベンジジン誘導体を含む正孔輸送材料。
【化０３】



(1)

（式中、Ｒ^{1}は、炭素数１～４のアルキル基のいずれかを表す。）
【請求項７】
構造式（２）で表されるベンジジン誘導体を含む正孔輸送材料。

【化０４】



(2)

【請求項８】
Ｎ，Ｎ’－ジフェニルベンジジンと、２－ブロモ－スピロ－９，９’－ビフルオレンとのカップリング反応によって得られ、融点が３２３℃～３２４℃である化合物を含む正孔輸送材料。
【請求項９】
請求項６乃至請求項８のいずれか一項に記載の正孔輸送材料から成る層を含むことを特徴とする発光素子。
【請求項１０】
請求項３、請求項５または請求項９のいずれか一項に記載の発光素子を画素部に用いていることを特徴とする発光装置。
【請求項１１】
請求項１０に記載の発光装置を表示部に用いていることを特徴とする電子機器。